



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社 椿本チエイン
 コード番号 6371 URL <http://www.tsubakimoto.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大原 靖
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画センター長 (氏名) 木村 隆利
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6441-0054

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	155,574	7.5	15,207	0.7	16,321	2.4	11,287	7.8
29年3月期第3四半期	144,744	4.5	15,308	5.5	15,930	5.6	10,471	2.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 16,987百万円 (113.8%) 29年3月期第3四半期 7,944百万円 (8.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	59.64	
29年3月期第3四半期	55.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	280,887	168,797	59.5
29年3月期	267,215	156,218	57.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 167,006百万円 29年3月期 152,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		11.00		13.00	24.00
30年3月期		11.00			
30年3月期(予想)				12.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期期末配当金の内訳 普通配当11円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	3.1	20,500	5.3	21,000	4.6	14,500	0.7	76.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	191,406,969 株	29年3月期	191,406,969 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,136,910 株	29年3月期	4,345,450 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	189,273,916 株	29年3月期3Q	187,072,128 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日～12月31日)における当社グループの事業環境は、米国は景気の回復が続き、欧州も緩やかに景気が回復しました。また、中国の景気は回復基調となり、環インド洋や東アジア地域でも景気は概ね堅調に推移しました。わが国においても、生産や輸出の伸長や設備投資の増加などにより、景気の緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は1,618億84百万円(前年同期比8.4%増)、売上高は1,555億74百万円(同7.5%増)となりました。

損益につきましては、鋼材価格の上昇などにより営業利益は152億7百万円(同0.7%減)となりましたが、為替差益の増加などによる営業外収支の改善により経常利益は163億21百万円(同2.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は112億87百万円(同7.8%増)となりました。

当社グループは、創業100周年を機に、つばきグループ共通の企業理念・行動指針として「TSUBAKI SPIRIT」を制定しました。動かすことに進化をもたらし、モノづくりの枠を超えたソリューション、社会の期待を超える価値を提供することで、これからも社会から必要とされ続ける企業となることを目指しています。

この「TSUBAKI SPIRIT」のもと、「中期経営計画2020」達成に向け、市場ニーズに徹底対応した商品開発やモノづくり、グループ総合力を生かしたビジネスの拡大に取り組み、持続的成長力を強化していきます。

なお、セグメント別の概況は、次のとおりであります。

[チェーン]

チェーンにつきましては、日本国内における動力伝動用チェーンや搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調に推移しました。また、米州や欧州における動力伝動用チェーンやケーブル・ホース支持案内装置などの販売が堅調であったことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、チェーンの受注高は518億47百万円(前年同期比16.1%増)、売上高は484億73百万円(同12.5%増)、営業利益は60億44百万円(同21.8%増)となりました。

[精機]

精機につきましては、日本国内における減速機や直線作動機などの販売が好調であったこと、中国における減速機などの販売が回復基調であったことに加え、第1四半期よりタイのクラッチ製造子会社を連結の範囲に含めたことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、精機の受注高は188億41百万円(前年同期比18.4%増)、売上高は175億71百万円(同11.9%増)、営業利益は22億18百万円(同36.8%増)となりました。

[自動車部品]

自動車部品につきましては、日本国内や米国における自動車エンジン用タイミングドライブシステムの販売はやや減少しましたが、欧州、タイ、中国、韓国、メキシコの拠点において同商品の販売が好調であったことから、前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は584億79百万円(前年同期比6.3%増)、売上高は585億11百万円(同6.6%増)となりましたが、減価償却費の増加や鋼材価格の上昇などにより営業利益は80億31百万円(同12.6%減)となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、日本国内における物流業界向けシステムや粉粒体搬送装置などの売上が増加しましたが、米国や欧州において金属屑搬送・クーラント処理装置の売上が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、マテハンの受注高は303億9百万円(前年同期比5.0%減)、売上高は290億93百万円(同1.1%減)となりましたが、日本国内における採算性の改善などにより営業利益は1億12百万円(同24.0%増)となりました。

[その他]

その他の受注高は24億5百万円(前年同期比29.5%増)、売上高は19億25百万円(同15.6%増)、損益については56百万円の営業損失(前年同期は30百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して136億71百万円増加し、2,808億87百万円となりました。

流動資産は、譲渡性預金の減少などにより有価証券が37億59百万円減少、現金及び預金が24億96百万円減少、受取手形及び売掛金が19億33百万円減少した一方で、仕掛品の増加などによりたな卸資産が61億75百万円増加したこと、電子記録債権が57億97百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して38億59百万円増加し、1,292億60百万円となりました。

固定資産は、のれんの償却などにより無形固定資産が7億86百万円減少した一方で、生産設備への投資などにより有形固定資産が57億79百万円増加したこと、保有株式の時価上昇などにより投資その他の資産が48億20百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して98億12百万円増加し、1,516億27百万円となりました。

(負債)

負債は、借入金が80億39百万円減少した一方で、電子記録債務が100億79百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して10億92百万円増加し、1,120億90百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が69億52百万円増加したこと、保有株式の時価上昇などによりその他有価証券評価差額金が36億62百万円増加したこと、為替の変動により為替換算調整勘定が18億80百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して125億78百万円増加の1,687億97百万円となり、自己資本比率は59.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成29年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,332	23,835
受取手形及び売掛金	41,109	39,175
電子記録債権	9,651	15,448
有価証券	7,965	4,206
商品及び製品	15,577	18,035
仕掛品	9,934	12,962
原材料及び貯蔵品	8,363	9,052
その他	6,810	6,909
貸倒引当金	△344	△367
流動資産合計	125,400	129,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,311	26,547
機械装置及び運搬具（純額）	32,566	34,639
工具、器具及び備品（純額）	3,144	3,452
土地	37,142	37,352
建設仮勘定	6,270	9,222
有形固定資産合計	105,435	111,214
無形固定資産	3,841	3,054
投資その他の資産		
投資有価証券	24,328	29,188
その他	8,335	8,293
貸倒引当金	△125	△123
投資その他の資産合計	32,537	37,358
固定資産合計	141,814	151,627
資産合計	267,215	280,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,701	21,353
電子記録債務	651	10,730
短期借入金	9,953	11,486
1年内返済予定の長期借入金	10,271	75
未払法人税等	2,631	1,510
賞与引当金	3,965	2,330
工事損失引当金	89	52
営業外電子記録債務	315	3,201
その他	14,977	15,208
流動負債合計	66,558	65,949
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	4,409	5,033
役員退職慰労引当金	106	100
退職給付に係る負債	13,395	13,504
資産除去債務	415	418
その他	16,112	17,082
固定負債合計	44,439	46,140
負債合計	110,997	112,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,661	13,559
利益剰余金	123,063	130,015
自己株式	△2,086	△1,030
株主資本合計	150,715	159,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,694	13,357
繰延ヘッジ損益	21	△37
土地再評価差額金	△10,614	△10,614
為替換算調整勘定	3,709	5,590
退職給付に係る調整累計額	△1,053	△909
その他の包括利益累計額合計	1,758	7,385
非支配株主持分	3,744	1,790
純資産合計	156,218	168,797
負債純資産合計	267,215	280,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	144,744	155,574
売上原価	100,563	109,357
売上総利益	44,181	46,217
販売費及び一般管理費	28,872	31,009
営業利益	15,308	15,207
営業外収益		
受取利息	71	82
受取配当金	669	778
その他	603	716
営業外収益合計	1,344	1,577
営業外費用		
支払利息	209	187
その他	511	275
営業外費用合計	721	462
経常利益	15,930	16,321
特別損失		
固定資産除売却損	89	-
減損損失	28	-
関係会社出資金評価損	101	281
事業再編損	217	-
特別損失合計	437	281
税金等調整前四半期純利益	15,493	16,039
法人税、住民税及び事業税	4,090	4,925
法人税等調整額	729	△226
法人税等合計	4,819	4,699
四半期純利益	10,673	11,340
非支配株主に帰属する四半期純利益	201	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,471	11,287

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	10,673	11,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,242	3,662
繰延ヘッジ損益	△232	△59
為替換算調整勘定	△4,819	1,897
退職給付に係る調整額	146	143
持分法適用会社に対する持分相当額	△65	3
その他の包括利益合計	△2,728	5,647
四半期包括利益	7,944	16,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,075	16,914
非支配株主に係る四半期包括利益	△131	72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	43,093	15,697	54,877	29,410	143,079	1,665	144,744	—	144,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	997	211	—	270	1,478	461	1,940	△1,940	—
計	44,090	15,908	54,877	29,680	144,558	2,127	146,685	△1,940	144,744
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	4,963	1,621	9,193	90	15,868	△30	15,838	△529	15,308

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△529百万円には、セグメント間取引消去93百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△623百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	48,473	17,571	58,511	29,093	153,648	1,925	155,574	—	155,574
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,017	323	—	273	1,614	380	1,994	△1,994	—
計	49,490	17,894	58,511	29,366	155,263	2,305	157,569	△1,994	155,574
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	6,044	2,218	8,031	112	16,406	△56	16,349	△1,142	15,207

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,142百万円には、セグメント間取引消去84百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,227百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。